

理科の学習

学習の目的	<p>★自然の事物・現象を対象として、物事を科学的(論理的)に考える力を身につける。 ・実験や観察とその結果から、ものの見方(見る観点を知る)や考え方(どのように考えていくか)を身につける。 また、そのように見たり、考えたりする態度を身につける。</p>
-------	---

●学習内容

月	単元名	学習内容	月	単元名	学習内容
4	1年 身のまわりの物質	物質の区別	10	1年 植物の世界	植物のなかま
	2年 動物の世界	細胞と個体、動物の行動のしくみ		2年 気象とその変化	気象観測、空気中の水の変化
	3年 化学変化とイオン	水溶液とイオン		3年 運動とエネルギー	仕事とエネルギー
5	1年 身のまわりの物質	気体の性質、水溶液の性質	11	1年 光・音・力	光・音とその性質
	2年 動物の世界	動物の生命維持のしくみ		2年 気象とその変化	低気圧と天気の変化
	3年 化学変化とイオン	酸・アルカリとその反応		3年 地球と宇宙	身近な天体、天体の1日の動きと地球の運動
6	1年 身のまわりの物質	物質の状態変化	12	1年 光・音・力	力と圧力
	2年 動物の世界	動物の仲間とその移り変わり		2年 気象とその変化	大気の動きと日本の気象
	3年 生物のふえ方と遺伝	植物や動物の成長と殖え方		3年 地球と宇宙	天体の1年の動きと地球の運動、太陽系と宇宙の広がり
7	1年 植物の世界	花のつくりとはたらき	1	1年 大地の成り立ちと変化	火山活動と火成岩
	2年 化学変化と原子・分子	分解と化合		2年 電流とそのはたらき	静電気と電流
	3年 生物のふえ方と遺伝	遺伝の規則性と遺伝子		3年 科学の発展と人間の生活	エネルギーの移り変わり、資源とその利用
8	1年 植物の世界	根・茎・葉と水のゆくえ	2	1年 大地の成り立ちと変化	大地の歴史と地層
	2年 化学変化と原子・分子	物質の成り立ち、酸化と還元		2年 電流とそのはたらき	電流と電圧
	3年 運動とエネルギー	物体にはたらく力		3年 自然と人間	生物と環境、人間と環境、自然の恵と災害
9	1年 植物の世界	葉と日光	3	1年 大地の成り立ちと変化	地震と大地の変化
	2年 化学変化と原子・分子	化学変化と物質の質量		2年 電流とそのはたらき	電流のはたらき
	3年 運動とエネルギー	物体の運動		3年 終章	科学技術の利用と自然環境の保全

●学習を進める上での留意点

○家庭学習の勧め

大切なのは、「授業中いかに集中して取り組むか」に尽きます。授業に集中して、課題をつかみ、考えること・わかること(理解すること)がもっとも大切です。しかし、人間は、忘れてしまう動物です。仕方のない事なので、繰り返し学習することで覚えていかななくてはなりません。そこで…

【復習の仕方】

- ・今日習った用語などは、できる限り、その授業の中で理解し覚える。(覚えきれない場合は、家庭学習に頼る。用語の整理…ノートに教科書の太字(大切な用語)とその意味を書いて、覚える。)
- ・節が終わったら、それに対応するワークの問題を解いてみる。(記入は別冊の学習ノートに)

【テストに向けて】

- ・**第1段階** ワーク単元の最後に載っている「重要事項のまとめ」のページにある大切な用語の確認。その用語を習った記憶があれば、まずはOK。(教科書の単元末にもまとめがあります。)
- ・**第2段階** 教科書、「基礎・基本問題」をやってみる。この段階で、忘れていたり、学習の記憶があいまいな場合は、教科書の本文のページやノートの関連ページを開いて学習しなおしておくこと。その時点で理解が不十分なものについては、先生のところに来て聞いて下さい。
- ・**第3段階** ワークの「基本問題」のページで、基本事項についてテストする。
- ・**第4段階** 教科書「活用・応用問題」やワーク「力だめし」で学習内容が身についているか試してみる。余裕があればワークの「キホンで解ける入試問題」にもチャレンジしてみる。

以上の繰り返しです。

更により確かな力を身につけるため、問題集を用意して取り組めば万全でしょう。

このような手順での復習は、できる限り、学校の授業の中でも実施していきたいと思いますが、理解の度合いや要する時間には、個人差もありますのでどうしても家庭学習に頼らなくてはならない現実があります。了承してください。

●どんな方法で評価するのか

